

2008年2月

大分市議会議長 殿

国保税の値上げ中止などを求める請願書

大分市は、3月定例会市議会に国保税の値上げ議案を提出する準備をすすめています。

これは、累積赤字の解消と後期高齢者医療制度導入により、新たに国保世帯に支援金の負担が上乗せされることによるものです。

制度改定により、国保税医療分は値下げされますが、後期高齢者医療の支援金として、一人当たり19、423円が徴収されることとなります。また介護保険料第2号保険料（40才～64才）が、一人当たり1、757円（9・3%）の値上げが予定されています。

大分市は一般会計から3億円のくり入れをしていますが、それでも、年収約200万円（40才以上の一人暮らし）では、8、200円の値上げとなります。

増税と社会保障改悪、そして2年連続の石油製品と輸入穀物の高騰により、市民の暮らしは深刻で、家計を直撃しています。そのうえ、国保税の値上げや資格証明書の発行は、市民の命と暮らしに重大な影響を及ぼします。よって下記についてお願いいたします。

記

- 1、 国保税の値上げを中止すること。
- 2、 資格証明書や短期保険証の発行はやめ、市民の受診権を保障すること。

氏 名	住 所

大分市民要求実現連絡会 取り扱い団体（ ）